

# HOPE!

祇園中3年  
学年通信  
平成25年  
10月28日号

## 進路説明会

先週金曜日は、警報発令中にもかかわらず、進路説明会にお越しいただきありがとうございました。今回は、進路決定までの手順・受験や入学手続き・選抜Iに関わってのお願い等を中心にお話しさせていただきました。短い時間での説明で不十分なところもあったことと思います。今後、保護者の方とお話しをさせていただくのは、12月11日(水)～13日(金)の三者懇談となりますので、それまでに不明なことやご相談がありましたら、遠慮なく担任までご連絡ください。

## 学年合唱リハーサル

先週木曜日、学年合唱リハーサルを行いました。1・2年の時は、大した緊張感もなく、完成度の低い発表でした。リハーサルが終わって、やっと本気で取り組むようになりました。しかし、今回は最後の合唱コンクールとあって、さすがに1・2年の時とは明らかに違いました。体育館に入る時から緊張感を持っていて、本気度全開でした。リハーサルにしては完成度が高かったように思います。この2・3日でどこまでできるか・・・本番がとても楽しみです。

## 音楽科の下岡先生、奈良井先生からのアドバイス

### <全クラス共通のアドバイス>

- ◎舞台上でのひとりひとりの間隔をもう少し広く。
- ◎言葉をはっきり言って、言葉の意味をしっかりと伝える。
- ◎強弱をもっとつける。
- ◎パートを聞きあってみる。
- ◎男子は今のパワーを保ったまま優しく歌う。
- ◎指揮者、伴奏者がもう少しリーダー的な役割を果たす。

### <各クラスへのアドバイス>

1組  
『虹』

- ・伸ばす音を下げない。
- ・“よんだ”のところを気をつける。
- ・短い音符の言葉をはっきりと。
- ・ハミングの出だしがはっきりしない。
- ・女子は最初の旋律をお腹に力を入れて歌う。(スカス

	<p>カの歌声になっている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子は 1.5 倍歌わないと、男子とのバランスがとれない。</li> <li>・男子 ←→ 女子と主旋律が移動する時、ずっと旋律が流れているように歌う。</li> <li>・ソロは、出だしの音を安定させるとより良くなる。</li> </ul>
2 組 『走る川』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い音符の言葉を気をつける。</li> <li>・最後の盛り上がりをもっと出し切る。</li> <li>・出だしの言葉にもう少し神経をはらう。</li> <li>・ただ歌っているだけで、川の流れがイメージできない。</li> <li>・アルトはもう少し頑張ろう。</li> <li>・各パートの縦の線をそろえる。</li> </ul>
3 組 『輝くために』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焦らない。</li> <li>・伸ばす音が雑。ギリギリまで大切に。</li> <li>・言葉をもっと丁寧に。言葉から思いが伝わらない。</li> <li>・男女のメロディーのところ（交互になるところ）は、もっとアピールする。</li> <li>・出だしの言葉を合わせる。（自信なさそうに歌い始めるとマイナスイメージ）</li> <li>・女子がもう少し頑張らないとバランスが悪い。</li> <li>・女子はもっと口を開いて言葉をはっきり。</li> </ul>
4 組 『君に伝えたい』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の出だしの音と言葉をしっかり。</li> <li>・女子の声が聞こえない。</li> <li>・クレッシェンドが弱い。盛り上げるところをしっかりとさせメリハリのある曲に仕上げる。</li> <li>・“光る空～”をしっかりと歌う。2 倍はボリュームがほしい。</li> <li>・最後の“風に乗せ～”をもっときれいに。</li> </ul>
5 組 『明日に輝く』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい響きを持って歌う。</li> <li>・長く伸ばす音を墜落させない。</li> <li>・最初のユニゾンのところを言葉をはっきりと。 （誰かが歌ってくれると思わない。ひとりひとりが責任を持ってはっきり言葉を使う。）</li> <li>・アルトは声をそろえる。</li> <li>・全体におとなしい曲なので、クレッシェンドや強弱をしっかりとつけることを考える。弱いと言うことは力を抜くことではなく、力をためるということ。弱いところが元気がないように聞こえる。</li> <li>・“あきらめ～”をもっとしっかり歌う。口先だけで歌っているのは、曲の広がりを感じられない。ホール全体に響かせるためのイメージがないように感じられる。</li> </ul>
6 組 『信じる』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に向かってもっと壮大に。</li> <li>・優しく小さく歌うところを、しっかり言葉を聞き手に聞かせるように歌う。</li> <li>・女子はもう少し声を遠くへ飛ばすイメージで！声がとてもきれい。</li> <li>・“地雷を～”からの力強さが足りないの、悲しみや怒りが感じられない。</li> <li>・“弱い＝力を抜く”ことではない。全体的に声量がないので、曲全体を今の声量の 2 倍で歌いましょう。</li> </ul>